

所 報

一九八八年一月から十二月までの一年間における専修大学社会科学研究所の諸活動を報告する。

一 機構および人事

(一) 所員総会

1 第五一回定例所員総会（一九八八年六月一日、神田校舎12A会議室）

議事 (1) 溝田誠吾所員を議長に選出、(2) 三輪芳郎所長挨拶、(3) 新所員、研究参与ならびに特別研究員委嘱の報告、(4) 一九八七年度事業報告、会計監査報告——報告を承認、(5) 一九八八年度事業計画案および予算案を原案通り承認決定。

2 第五二回定例所員総会（一九八八年二月三日、神田校舎13A会議室）

議事 (1) 泉武夫所員を議長に選出、(2) 三輪芳郎所長挨拶、(3) 新所員ならびに特別研究員委嘱の報告、(4) 一九八八年度事業経過報告、会計経過報告——報告を承認、(5) 一九八九年度事業計画案ならびに要求予算案を、一部修正の上、原案通り

承認決定、(6) その他、(1) 所長、事務局長選出のあり方、(2) 三部長のあり方、(3) 所報のあり方、(4) 研究助成のあり方について運営委員会に諮問し、検討してもらうことが決議された。(7) 所長、事務局長、三部長、会計監査委員の改選が行なわれ、次のようになった。所長三輪芳郎所員、事務局長泉武夫所員、総合理論部門部長玉垣良典所員、現状部門部長加藤佑治所員、歴史部門部長加藤幸三郎所員。

(二) 運営委員会、会計監査委員および事務局の構成

一九八八年度の運営委員会、会計監査委員および事務局の構成は次の通りである。

運営委員会——三輪芳郎所長、佐藤博所員（総合理論部門部長）、加藤佑治所員（現状部門部長）、加藤幸三郎所員（歴史部門部長）、二瓶敏経経済学部長、平川東亜前事務局長、儀我壮一郎所員、玉垣良典所員、田路健一所員、福島新吾所員、水川侑事務局長。

会計監査委員——大西勝明所員。

事務局——〈事務局長〉水川侑、〈研究会担当〉澤野徹、柴田弘捷、福島義和、〈編集担当〉松浦利明、赤羽新太郎、大谷正、〈文献資料担当〉作間逸雄、村上俊介、〈パソコン担当〉平井俊顕、〈財政担当〉奥村輝夫、高橋祐吉。

(三) 所員、研究参与、所外研究員および特別研究員の移動

加藤茂夫(営)、野口旭(経)、広瀬裕子(法)、広田康生(文)、本江涉(営)、吉田麗太郎(経)、米地實(支)の七氏は、四月一九日、古川純(法)氏は、六月四日の運営委員会の議を経て、四月一日付で所員に委嘱された。

池田博行、斎藤秋男、白柳夏男、新藤宗幸、西川善介、三田晴義、吉岡健次の七所員は三月三十一日付で退職されたので、所員を解嘱した。

池田博行、斎藤秋男、白柳夏男、西川善介、吉岡健次の前所員を四月一日付で研究参与に委嘱した。

西田勲研究参与は、一九八八年四月一〇日、胃ガンのため御逝去されました。慎んで哀悼の意を表します。

矢吹芳洋氏(専大大学院法学研究科博士課程修了)は、四月一九日の持ち回り運営委員会の議を経て、四月一日付で特別研究員に委嘱された。

以上により第五一回定例所員総会時における所員は一一四名(専任教員一一三名、非常勤講師一名)、研究参与一八名、所外研究員一〇名、特別研究員一名となった。

大濱啓吉(法)、森川幸一(法)、内藤光博(法)、矢澤昇治(法)の四氏は、七月一〇日の持ち回り運営委員会の議を経て七月一日付で所員に委嘱された。

阿部総一氏(専大大学院経済学研究科博士課程修了)は七月一六日の持ち回り運営委員会の議を経て、七月一日付で特別研究員に委嘱された。

以上により第五二回定例所員総会時における所員は一一八名(専任教員一一七名、非常勤講師一名)、研究参与一八名、所外研究員一〇名、特別研究員二名となった。

二 研究活動

(一) 社研プロジェクト(テーマ…日本産業の「空洞化」問題)

1 プロジェクト研究会

(i) 六月七日(火)二時～生田第五会議室

報告者 儀我壮一郎所員

テーマ 「多国籍企業と産業の空洞化」

(ii) 七月二八日(木)一時～県立栃木商業高校

報告者 永田雅啓氏(社団法人日本貿易会貿易研究所主任研究員)

テーマ 「社団法人日本貿易会貿易研究所編『米国産業・貿易構造の変遷と展望』」

報告者 野林健氏(一橋大学法学部教授)

テーマ 「『保護貿易の政治力学』：アメリカ鉄鋼業の

事例研究：（勁草書房）を中心に

2 プロジェクト予備調査

三月一〇日（木） 松下電器

(二) 定例研究会

(i) 六月二日（土）一時三〇分～生田第四会議室

報告者 正村公宏、鶴田俊正、宮本光晴所員

テーマ 「高度産業社会と国家」（社研「グループ研究助成」の成果の一部）

(ii) 七月一六日（土）二時～神田社研分室

報告者 高山智氏（朝日新聞調査研究室主任研究員）

テーマ 「ペレストロイカと社会主義の展望」

(三) 特別研究会

1 合宿・集中研究会

◎七月二八日（木）一時～県立栃木商業高校「社研プロジェクト」参照

2 工場見学等

(i) 三月一〇日（木） 松下電器（プロジェクト予備調査）

(ii) 七月二九日（金）午前 いすゞ自動車栃木製作所

午後 トチギ・ビデオテック（株）

(四) グループ研究助成

一九八八年度は次の七件（助成A）を助成した。なお、この研究助成Aに対しては、グループのメンバーのうち、一人以上の所員が当グループが定めた共通テーマに関連する個別テーマで本研究所が指定もしくは承認した公表誌に研究成果を公表する義務が課されている。

(1) 「現代社会における競争と公正」（八六年度発足）

（吉岡〈恒〉・中島・平井・原田・宮本の五所員）

(2) 「一五年戦争の法的・政治的研究」（八七年度発足）

（榮澤〈代〉・小沼・小林・近藤・木幡・佐々木・佐藤

（恭）・高柳・福島（新）・古川・宮坂・石村・大谷の一

三所員）

(3) 「国際化と日本の経済と社会」（八八年度発足以下同じ）

（鶴田〈代〉・中村・玉垣・吉岡・正村・吉家・宮下・

松田・中島・八林・平井・原田・宮本・野口の一四所

員）

(4) 「経営システムの国際比較」

（赤羽〈代〉・儀我・大西・奥村・黒川・柳・伊吹の七

所員）

(5) 「産業と地域——八〇年代の企業・労働者・地域社会——」

（柴田〈代〉・大西・赤羽・福島（義）・広田・黒田の六

所員）

所員）

(6) 「巨大産業企業の事業構造転換（リストラクチャリング）

と地域経済」

- (7) 「溝田〈代〉・伊東・泉(武)・桜井・田口の五所員」
「経済統計の諸課題と国民経済計算」

(田路〈代〉・佐藤(博)・平川・黒川・松田・作間の六所員)

(5) 個人研究助成

一九八八年度は四件助成した。なお、この助成には原則として、交付年度より起算して三年以内に本研究所が指定もしくは承認した公表誌に、その研究成果を公表する義務が課されている。

- (1) 玉垣所員「現代資本主義論 noch einmal——蓄積危機・長期波動・段階論」
(2) 西村所員「マルクス『資本論』の成立過程——いわゆる「機械論草稿」執筆中断の理由について——」
(3) 広田所員「都市再開発と地域社会の変容——事例調査を中心にして——」
(4) 青木(信)所員「租税根拠論序説」

(6) 『専修大学社会科学研究所月報』の刊行

二九四号(一月号) 金浩鎮著、望月清司所員訳「第三世界の主要理論と諸観点」
二九五号(二月号) 池田博行所員「ダイヤモンドはその輝

きにあたいるか」

二九六号(三月号) 鈴木直次所員「わが国自動車企業対米進出過程」

二九七号(四月号) 森宏所員、Wm. D. Gorman

“Import Regulations and Consumers' Benefits—The Case of Beef in Japan.”

二九八号(五月号)

「エス・ウリヤニーチェフ稿、加藤佑治訳・解説『日本の失業者はどのくらいか——あるいは日本の統計は日本の失業をいかに少く見積もっているか——』」

二九九号(六月号) 黒田彰三所員「地域開発と先端産業の立地」

三〇〇号(七月号) 記念号

三〇一号(八月号) 森宏所員、Wm. D. Gorman

“Tokyo Central Meat Wholesale Market Price Quotations for Beef Carcasses: How Far Do They Indicate and Represent Nationwide Beef Market Conditions? — Revised”

三〇二号(九月号) 正村公宏、鶴田俊正、吉家清次、宮下誠一郎、宮本光晴、野口旭、三輪芳郎、水川侑、澤野徹所員

〈座談会〉『高度産業社会と国家』をめぐる」
三〇三号(一〇月号) 池田博行研究参与

(研究ノート) 「悪魔が砂糖を持ち込んだ?」

三〇四号(十一月号) 阿部総一特別研究員

「ウォーラーステインの『世界システム論』における現代

危機把握」

三〇五号(十二月号)

「ダニエル・シンガー著、玉垣良典訳・解説『二十年後に

六八年五月再訪』」

三 その他の活動

(一) 文献、資料の収集と整理

1 文献資料の収集

所員の希望をもとに統計資料を中心とした文献資料の購入

・収集を行った。

購入の一例を掲ると

(i) John Cunningham Wood (ed.) William Stanley

Jevons—Critical Assessments—1, 11, 111

(ii) 内田義彦著作集(全一〇巻内四巻)

2 文献資料の整理

収集した文献の登録(グループ研究・個人研究などで購入した文献を含む)と、雑誌の製本を行った。

(二) コンピュータの利用

一二月二三日(火)一時、生田社研において講習会を行った。

テーマ 「マイコンによる経済学」の利用法(昨年度購入のソフト)

講師 平井俊顕所員

(水川侑記)